

仙台白百合学園 学園報

Sendai
Shirayuri Gakuen
Campus Report



<https://sendaishirayuri.net/>

わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、
わたしにしてくれたことなのである。
(マタイによる福音書25章40節)



Merry Christmas

I heartily send all good Christmas wishes to you and your family.

仙台白百合学園

2025年度 園児・児童・生徒募集のご案内

詳細は学園ホームページをご覧ください。

幼稚園

Kindergarten

お問い合わせ・連絡先
TEL:022-777-6777
E-mail:kinder-info@sendaishirayuri.net
<https://kd.sendaishirayuri.net/>
ロンちゃんBlogも
ご覧ください。



お知らせ

転入、入園に関して受け付けております。お問い合わせ下さい。

小学校

Elementary School

お問い合わせ・連絡先
〒981-3205 仙台市泉区紫山1-2-1
TEL:777-3777 FAX:777-3778
<https://el.sendaishirayuri.net/>

申し込み方法

詳しくは本校ウェブページをご覧ください。上記連絡先までお問い合わせ下さい。



お知らせ

- 2025年2月1日(土)
令和7年度 新1年生最終入学試験
- 令和7年度 転入児童募集
新2年生～新5年生 若干名



学校見学随時受付いたします

入学後の登下校方法、授業内容等のご相談についてお気軽にお問い合わせください。
(ご来校・お電話・web問い合わせいずれも可です)



中学・高等学校

Junior & Senior High School

お問い合わせ・連絡先
<https://jh.sendaishirayuri.net/>
TEL:022-777-5777
仙台白百合学園 検索



中学校

入試日

- I期
2025年1月7日(火)
 - II期
2025年1月18日(土)
- ※いずれか1つに申し込んでください。

募集人員

● 120名

入試形式

- I期 …… 国語・算数・英語の中から1教科選択、作文、面接
- II期 …… 国語と算数のミックス問題、作文、面接

高等学校・全日制

入試日

- 推薦入試
2025年1月15日(水)
専願型：作文・面接
公立併願型：書類選考

- A日程
2025年1月30日(木)
 - B日程
2025年2月3日(月)
- 専願・一般：
国語・数学・英語
(専願は面接あり)

募集人員

● 225名

エンカレッジコース

高等学校 通信制課程

Encourage Course

お問い合わせ・連絡先
TEL:022-777-6625
白百合エンカレッジ 検索



※編入学・転入学はお問い合わせ下さい。

4月生募集人員

- 女子 80名
- 対象
宮城県、神奈川県、東京都、千葉県、埼玉県、新潟県、福島県、山形県、岩手県、秋田県、青森県、栃木県、群馬県、茨城県、北海道に在住する方



出願期間

- 第I期 2024年12月2日(月)～2025年1月 8日(水)
- 第II期 2025年2月17日(月)～2025年3月 5日(水)

入学考査

- 第I期 2025年1月31日(金)
- 第II期 2025年3月14日(金)

仙台白百合学園チアリーダー Twinkle Lilies(トゥインクルリリーズ)

仙台白百合学園チアリーダー Twinkle Lilies(トゥインクルリリーズ)は幼稚園、小学校、中学校、高校 総勢90名以上のメンバーで構成されています。『白百合の元気を届ける』ことを目標に、日々の練習に精を出し、学園内外のイベントに出演しています。

私がチアリーダー部に入部したきっかけは、仙台白百合学園小学校から所属していたチアを中学校でも続けたいと思ったからです。活動をしていて印象的だったのは学園祭と体育祭で、どちらも大きな行事なので、一生懸命練習しました。学園祭では、特に夏休みの練習が心に残っています。何曲も振り覚えたり、続けて踊ったりするのは大変でしたが、先輩たちと楽しく話した時間、一緒に踊った時間はとても良い思い出です。体育祭は体力を使う激しいダンスでしたが、驚くくらい沢山の歓声が聞こえ、私自身が皆さんからパワーをもらいました。これからもたくさんの人を笑顔にし、自分たちも楽しみながら活動していきたいです。

中学1年 泉 日南乃

私は部活を通して物事を継続することの大切さを学びました。新曲を覚えた日は、帰宅後に何度も動画を見ながら練習をします。振り付けを覚えることは大変ですが、自主練をすることで次の日の部活をパフォーマンスに磨きをかける時間に行うことができます。このように毎日の復習を怠らないことで自信が付き、スキルアップにも繋がります。また、感謝の気持ちを忘れないということも学びました。現在私たちは沢山のイベントに出演させていただいています。しかし、私たちの希望だけでは出演することはできません。これまで部活を受け継いできた先輩方の信頼、保護者の方や先生方の支えが不可欠です。そのため、私たちは「出演させていただいている」という気持ちを大切にしています。今後の目標は、技術の向上と部長としての責任を果たすことです。そして、仲間と共に多くの方に笑顔と元気を届けるチアリーダー部を作っていこうと思います。

高校2年 荒 瞳子

令和6年度出演実績	
※(学)一学年内	
4/28	・&MAMACOフェスタ
5/24	・高校 壮行会 (学)
5/31	・中学 壮行会 (学)
7/14	・ヴォスクオーレ仙台-halfタイム
7/20	・中・高 オープンスクール (学)
8/24	・紫山ダンスフェスタ
8/31~9/1	・学園祭 (学)
9/14	・紫山秋祭り
9/25	・河合塾NEXT動画撮影
10/16	・寺岡・紫山市民文化祭
10/18	・体育祭 (学)
10/19	・リレー・フォー・ライフジャパン2024みやぎ
10/26	・仙台白百合女子大学 大学祭
11/30	・仙台89ERS-halfタイム
12/ 6	・あそびにいこう (学)
12/ 7	・ミッションスクールクリスマス募金
1/23	・高Ⅲ生を送る会 (学)



2024韓国パジュ英語村サマーキャンプ (中学生対象夏の海外研修)

これまで中学2年生(希望者)を対象にニュージーランド研修を行ってまいりましたが、今年度から中学生全学年(中学1年生~中学3年生)を対象として、8月上旬に海外研修を実施しています。候補地は毎年変わります。今年度は、11名の生徒が韓国京畿道にあるパジュ英語村のサマーキャンプに参加しました。中には、初めての海外渡航というだけでなく、飛行機への搭乗が初めてである生徒もいました。「百聞は一見に如かず」。ぜひ、本学園の海外研修に参加して、親元を離れて海外生活を体験してみましょう。



「パジュ英語村研修をふりかえって」

中学2年2組 板垣 花奈

私は今回のパジュ英語村研修で様々なことを学びました。最初は海外といってもお隣の韓国で、雰囲気も似ていたこともあり、あまり緊張や不安もありませんでした。しかし、二日目に授業が始まってからは不安という気持ちが少し入り混じるようになりました。授業自体はゲーム感覚のものが多く楽しかったのですが、伝えたいことを英語で話せなかったり、クラスメイトに自分から話しかけに行くことがなかなかできなかったりしました。そんな中で一緒に研修に行った友達の存在は大きかったと思います。昼食中や夜に皆でする他愛もない会話がとても大切だということを知りました。

段々パジュ英語村での生活にも慣れ、沢山の先生方の授業を受けました。個性が豊かで面白かったです。ある日、授業でとても驚いたことがありました。それは英語の発音です。ニュージーランド出身の先生とアメリカ出身の先生から、母国語が同じでも、国によって発音が違うことを教えていただきました。このように、初めての海外研修は楽しく、興味深いことが沢山ありました。これからも英語を学び続け、いつか留学ができるようになりたいです。

カトリック教会では、十二月に入ると待降節というシーズンを迎えます。待降節とは、「主イエス・キリストが幼子として、この地上にお生まれになるのを待ち望む時期」と説明されています。地上にお生まれになるのを待ち望んでいるのでしょうか。そこで神様とイエス様について少しお話したいと思います。



カトリック元寺小路教会 高木 健太郎神父

今も昔も、この地上には空気があり、風が吹いています。そこで昔の人々は、「見えないけれども何かがある。感じる」ことができるもの。そして、特に「風」について、それは神様の為すわざ、「神様の息吹」を感得されてきました。そんなのです。人間は古来から、どこかで神様という存在を認識してしまっています。人々が生きる中で、出来事や出会いを通して、何か目には見えないけれど

も特別な力が働いているのではないかと。山や海、自然を作った創造主がいるのではないかと。そして、神様の作った秩序(人間のあるべき姿)があるのではないかと。考えていました。でも一方で、見えない神様という存在は、かたちのないもの、捉えどころのないものとしてイメージしにくいものでした。そのようなくともあって、人々は神様のことを忘れてがちで、神様の思いから背いた行動をしていました。また、いろいろな災いや戦争も多く、人々は救い主を待ち望んでいました。そこで、神様は、ひとり子としてイエス様を世の救い主として、この地上に送ってくださいました。

時代に合わせて変わった法律が時としてあります。同時に新しい法律が必要だと感じることもあります。イエス様は、「守るための法律」ではなくて、新しい「行つたための法律」を制定しました。人々は、「イエス様こそ王様になるべきお方だ。」と思いましたが、でもイエス様は、王様になって偉くなるために神様から地上に遣わされたではありません。 「行つたための法律」神様の愛を知ってほしい、人々がお互いに仲良く愛し合いなさい。」と思つて遣わされたのでした。人々はイエス様が王様にならないので期待外れでがっかりしました。「守るための法律」を大切に思つていた法律学者たちは、イエス様が居ては自分たちの地位が脅かされると思い、殺してしまおうと思つました。イエス様は無実の罪で逮捕され、それに人々も賛同しました。弟子たちは怖くなって逃げてしまいました。そして、イエス様は十字架につけられて死んでしまいました。しかし、イエス様は三日目に復活し、弟子たちの前に現れました。弟子たちは「イエス様は神であり、人である」とことを理解しました。イエス様は弟子たち

レポート

去る九月十六日 第十五代校長 スール マリクレマンヌ 渡辺智恵子先生がおこくなりになりました。天国での安らぎをお祈りください。(校長職 1999~2009)

ポーランドからの留学生紹介

皆さんありがとうございます。白百合の先生達はとても優しく、分かりやすい言葉で説明してくれました。今まで日本に来ることは私の夢でした。その夢がもう叶ったので次の夢はちゃんと日本語で話せること。皆さんの優しさ、親切な心、料理のおいしさを絶対忘れません。
ピアンカ・ジャレック

こんにちは! ニナです!!

私は本当に楽しい時を過ごしました。ホストファミリーの料理と学校の食堂での昼ご飯はとてもおいしかったです。たくさんの方が出来ました。白百合学園の制服は本当にきれいで大好きです。日本語が上達するようにもっと漢字を頑張ります。日本にずっと住んでみたいですよ。
ニナ・ジョコフスカ

クリスマスメッセージ

主イエス・キリストの降誕を待ち望む待降節



年長児にインタビュー

Q1 大きくなったら
Q2 一番楽しいとき



①アイドルになって
うたとかダンスを
したい。
②その
すべりだいや
おうちで
あそぶのがすき。
(かやばるな)

①ファッション
デザイナー。
おとなっばい
ふくをつくりたい。
②ホテルのプールで
あそぶとき。
(うちだ ゆりん)

①バイオリンのプロ。
おんがくが
すきだから。
②オーケストラと
いっしょに
バイオリンを
ひいているとき。
(きや じょうたろう)

①おいしゃさん。
ひとをたすけたい
から。
②おともだちと
あそんでいるとき。
(いしかわ ゆうま)

①パンやさん。
パンがすきだから。
②おうちの
アクアリウムで
あそんでいるとき。
(じょういちさくら)

①アイドルと
おいしゃさん。
みんなを
たすけたいから。
②おともだちと
あそんでいるとき。
(はら ひかり)

①アイドル。
みんなを
たのしくさせて、
よろこんで
ほしいから。
②ポケモンゴッコを
しているとき。
(みぎた なな)



①おかあさんと
おまわりさん。
おうだんほどうで
ふえをふきたい。
②おとうととする
おいかけっこ。
(たに わかな)

①ゴウジのひと。
しょうがつゴウを
つくりたい。
②こうえんで
かぞくと
おにぎりを
するとき。
(つだ りんのすけ)

①ユーチューバー。
ゲームの
じつきょうが
やりたいから。
②テニスを
しているとき。
(やえがし わく)

①けいさつかん。
おかあさん、
おとうさんを
まもりたいから。
②かくれんぼとか
おにぎりを
しているとき。
(わだ ゆずか)



①サッカーせんしゅに
なりたい。
かっこいいから。
②きょうだいと
キャッチボールを
するとき。
(みやもと とわ)

①けいさつかんに
なつて だろぼうを
つかまえない。
②そとで
ワンダフル・
プリキユアゴッコ。
(もりや うらら)

①さんすうとか
りかのせんせい。
②おとうさんと
おかあさんと
オセロを
やっているとき。
(やまだ たかとき)



おしごと紹介

その37 銀行ゲーム



「ぎんこうやさん、二千四百十三のビーズをください。」幼稚園のおしごとは、一人で言う活動とグループ活動があります。

お友だちと一緒にするおしごとも楽しい時間です。

四桁の自分のカードを準備したら、ビーズがたくさん揃った銀行に行つて銀行屋さんから同じ数のビーズをもらつてきます。一人ずつ絨毯の上でカードとビーズが一致しているか確認します。

次に風呂敷の中に大きいビーズから順に入れて結び皆のビーズを合わせます。こうすることで一人一人の数は少しでもみんなで合わせると大きくて重いものになることを体験します。

また「十・百・千のビーズは点・線・面・立体と視

十一月は七五三のお祝いが行われました。幼稚園では口ザリオのマリア聖堂に年長児と保護者が集います。北仙台教会よりユ・チョンピル神父様がお越しになり、子どもたちの健やかな成長に感謝し、おうちの方と一緒に神父様から祝福をいただきます。

前日から「はやくあしたにならないかな」と年長児からは楽しみにしている声が聞こえました。当日は肌寒い朝でしたが、おうちの方と一緒に笑顔で登園する姿が見られました。神父様が入堂し、いよいよ祝福式が始まります。毎日クラスで練習していた聖歌や共同祈願など、大きな声ではきはきと唱える姿がありました。メダイと干鰯の祝別をしていただき、親子で神父様からの祝福をひとりずつ受けて、和やかに七五三のお祝いをすることができました。年長児がこれからは神様からの愛のなかで成長できますように。

うんどうかい

沢山の声援の中、運動会が開催されました。

年長児は園生活最後の運動会に責任を持って取り組み、最後には笑顔でメダルを手に入れました。競技だけでなく、係の仕事も頑張る年長児の姿に、来年は自分の番だと年中児は楽しみにしていました。満三歳児と年少児は、初めての運動会にドキドキ。温かい拍手を力に元気いっぱい駆け抜けました。皆で力を合わせて頑張った運動会を終え、子ども達は逞しく成長しました。

七五三

十一月は七五三のお祝いが行われました。幼稚園では口ザリオのマリア聖堂に年長児と保護者が集います。北仙台教会よりユ・チョンピル神父様がお越しになり、子どもたちの健やかな成長に感謝し、おうちの方と一緒に神父様から祝福をいただきます。

前日から「はやくあしたにならないかな」と年長児からは楽しみにしている声が聞こえました。当日は肌寒い朝でしたが、おうちの方と一緒に笑顔で登園する姿が見られました。神父様が入堂し、いよいよ祝福式が始まります。毎日クラスで練習していた聖歌や共同祈願など、大きな声ではきはきと唱える姿がありました。メダイと干鰯の祝別をしていただき、親子で神父様からの祝福をひとりずつ受けて、和やかに七五三のお祝いをすることができました。年長児がこれからは神様からの愛のなかで成長できますように。

今後の行事予定

1月	
10日(金)	三学期開始
2月	
4日(火)	縄跳び大会
13日(木)	泉ヶ岳そりすべり
3月	
12日(水)	終園日
13日(木)	卒園式

四年生／十月九日

「踊る。ペットボトルピザ」作り

ピザ生地作りからトッピングまで自分たちで楽しくピザを作って、おいしく食べました。
常に笑顔が見え、食べ終わった後にはお家でも作りたいという声がたくさん聞こえました。

私たち四年生は、十月九日の授業参観の日に、ペットボトルピザを作りました。ペットボトルを振って生地を作るのがたいへんでした。生地を出したときはとびつせんペットボトルから出てきて楽しかったです。またやりたいと思いました。
(都築 未和子)

授業参観の日に家庭科室でペットボトルピザを作りました。最初は難しくうだと思っていたけど、ちばにゃんたちに教えてもらっておいしくできてよかったです。心に残っていることは、生地をペットボトルから出すところです。大きな



音がして、生地がすごいスピードで出てきて、びっくりしました。
(金 美緒)

ピザの生地作りは、ただ作るのではなく、ジャンプしたり、ぐるぐる回ったりと楽しくおどりながら作ります。ペットボトルの中の生地をままとまりにするためです。生地を出るときにもすごく大きな音を立てたので、びっくりして悲鳴を上げてしまいました。
(小出 美月)

ピザにのせる具材はとても豊富で、見るだけでときめきました。少し苦手な具材もありましたが友達と調節して苦手な食べ物にも挑戦することにしました。みんなで心を込めて作ったおかげか、いつものピザより十倍も百倍も千倍もおいしく感じました。
(石川 續美)

音楽はつびょう会ではいろいろな人がいました。わたしは、「秋の子」と「ねこだつてサッカー」と「青い空に絵をかこう」の三きよく歌いました。ほかの学校の歌も少し聞きました。おうちの人やほかの学校みんなが楽しんでくれてよかったと思いました。わたしも楽しかったです。
(佐藤 芽彩)



十月二十五日にトーナメントホール(仙台市民会館)にて、第七十五回仙台市小・中学校音楽発表会が行われました。今回は元氣一杯の二年生が、参加させていただくことになり、三曲練習して臨んできました。曲に合わせた振り付けも考えバホームページも作り。当日は会場の拍手も後押しとなり、最高の盛り上がりを見せてくれました。多くの人の前で、表現する楽しさを学ぶ良い時間を過ごすことができました。

音楽発表会がありました。レジナパースホールより、もっと大きなステージでした。さいしょはきんちようでしたが、歌いはじめるときんちようがなくなると、楽しく歌うことができました。

わたしたち二年生は金曜日に音楽はつびょう会に行きました。前日の夜はゆめでも歌いました。大へんだったけど、みんなときがびつたりで歌えてうれしかったです。今はくせになっでいていつでも歌って、たまには、ふりつけもしている時があります。
(石山 あおい)

本番の時は、たくさんの方がいて、ドキドキしました。でも、ほかの学校の子どもたちも歌っていたので、ドキドキの気もちは、少しおさまりました。わたしたちの番になってステージに上がりました。わたしは、きんちようしました。みんなが歌い出したので、わたしも歌ったら、ぜんぜんきんちようしませんでした。
(南條 海優)

金曜日、ドキドキわくわくしました。ステージに上がったらうごきを止めて、ピアノが聞こえるまでは、すずを鳴らさないようにしました。音が鳴ったので、きれいなめらかに鳴らしました。「ねこだつてサッカー」は、ねこみたいなのに、「青い空に絵をかこう」は、本当に絵をかいているみたいになりました。ぜんぶ大へんだったけど、元気にできてうれしかったです。
(中西 花音)

みんながやる気になって、みんなが本気を出していて、わたしもやる気になりました。いろいろな人がわたしたちをおうえんしてくれて、ステージの上に立っていました。わたしはきれいな歌を歌えます。音楽はつびょう会がおわかりました。自分が本気を出して、みんながおうえんしてくれたので、いい気もちになりました。
(菊池 香凜)

五年生／十月二日

稲刈り体験



五月に田植えを行った稲が豊かに実りました。鎌を使い昔ながらの手作業で稲刈りをした五年生。翌週には早速お届けいただき、各家庭で新米を味わいました。

改めて考えたらお米ができるまでこんなに苦労しているのに、お米作りをする人も減ってきているからすごく大変なのだと思いましたが、米を脱穀する機械も見たいです。お米はとてもおいしくいただきました。

手で作業するときの苦労と大変さや、機械で作業するのが楽なことを実感して、稲刈りができてよかったです。お米を作るときの大変さを知って一粒一粒の重さを感じました。ありがとうございました。
(太田 莉瑠)



お米は当たり前前に食べられるわけではないとびっくりした。皆さんの頑張っている人たちのおかげで食べられているとびっくりした。この体験を通してお米作りへの感謝がさらに増えました。そして五月の田植えからこんなに育ったのだなと思



夏の暑い盛りには田んぼの水を抜いて、土にじりが入るまで乾かす。中干し作業が行われました。



初めての稲刈りだったけど、自分なりに工夫してたくさん刈ることができて楽しく稲刈りができました。作業中は大丈夫だった体も、帰りのバスではとても熱くなったので昔の人はもっと長い時間やっていたと思うとすごいなと思いました。
(阿部 珠季)

昔の人は稲を刈るのも脱穀するのも全部手作業だったから、これを全部するには結構時間がかかりそうだなと思いました。一人で全部刈ってみたいし、足踏み脱穀機もやってみたいです。毎日稲のお手入れをしてくださいありがとうございます。
(本間 菜乃)

六年生／十月十六日～十八日

修学旅行

ドイツで印象に残ったことは、キャストさんの挨拶です。私たちがドイツランドに入ると、「こんにちは。いってらっしゃい。」と笑顔で言ってくれました。入園前からワクワクしていた気持ちももっとワクワクしました。挨拶は言った人も言われた人も笑顔になるんだと改めて思いました。
(阿部 千鶴)

ドイツで「遊ぶ」ことができました。私は、修学旅行で「遊ぶ」楽しむのが学びの一つになっていると思いました。
(伊藤 希)

世界の様々な状況に置かれた子ども達について学んだユニセフハウスが印象に残りました。自分のやりたいことができず一日が終わってしまう生活なんて、日本では経験することはありません。だから、毎日学校に通えることや食事ができることを当たり前と思わずに感謝して生活したいと思います。
(牛澤 瑚珠)



修学旅行では、実際に一緒に行動してみると友だちをより詳しく知ることができました。時間の使い方が上手、相手の気持ちを考えて話せるなどの良いところに改めて気付いて、グループの結束力を高めました。これからは友だちの良いところをお手本にしたり、もっと話してみたいと話を深めたいと思いました。
(樋浦 綾音)

印刷博物館では、印刷の歴史を学び、昔の印刷技術で印刷するという貴重な体験をしました。体験の部屋には、漢字やひらがなが書いてある小さいハンコのようなものが、すらすらと棚に並んでいました。棚と棚の間を通るときに、ハンコが落ちないかびくびくしていました。こんな小さなハンコに文字を彫れたなんて感心しました。
(天童 舞)



10/18 令和6年度 仙台白百合学園 中学・高等学校「体育祭」



新型コロナウイルス感染拡大も落ち着き今年度の体育祭は、コロナ前のような雰囲気のもと実施され、笑顔の絶えない体育祭となりました。昨年行われたダンス甲子園、大縄跳び、リレー、中学生はドッジボール、高校生はバスケットボールに加え、今年は大玉運び、玉入れが競技に追加されました。ダンス甲子園では、課題曲の中でクラスで振付を創作し、クラスの団結力のより強いものになったと感じています。ダンスではクラス全員で踊り切り優勝、大縄跳びでは最高記録を更新し2位を取ることができました。私たち高校3年生にとっては最後の大きな行事でしたが、クラスの仲間と切磋琢磨し、最高の思い出をつくることができました。

高校体育委員 高校3年 大學 真凜・中館 結衣

7/17 令和6年度 仙台白百合学園 中学・高等学校「合唱コンクール」



7月17日、今年も中学1年生から高校3年生全学年の美しい歌声がレジナパースホールに響き渡りました。「歌う」ということが常に身近にある私たちにとって合唱コンクールは大切な行事の一つです。合唱コンクールの見どころは練習を重ねていくうちにクラスでの絆が深まり、各クラスそれぞれの特徴が入った合唱を聞くことができる点です。また、クラス全員が同じ目標に向かって練習している姿も青春だと思います。コロナ禍を経て歌うことが日常的になってきた今、みんなで歌えることの幸せを味わい、これからも歌うことを楽しんでいくと同時にクラスで深めた絆をこれからの学校生活に活かしていきたいと思っています。

高校3年 牛木 釉愛

第69回 中・高学園祭
八月三十一日
九月一日

学園祭実行委員長
高校3年
石橋 菜花

今年度の学園祭は、昔に戻ったような白百合らしい一風変わった学園祭にしたいという思いから、「retoro」というテーマで行われました。テーマに沿って学園祭当日にはさまざまな展示や出店が行われ、とても盛り上がり、大成功だったと感じています。

SPホワイトフェスティバル内でも、「retoro」というテーマに沿ってクイズやオリンピックを交えた環境保全についての発表、参加型の企画を行いました。また、土曜日の午後には風船を使ったバルーンランタンの

打ち上げを行いました。例年にならぬ土曜日の16時終礼、また日曜日のみの一般公開になり、賛否両論意見があったかと思えます。

ですが、在校生のみならず保護者の皆様にも感動した、楽しかったとたくさん声をかけていただきとても嬉しかったです。

至らない点も多く、沢山の方に迷惑をかけてしまうこともありました。また、在校生・教職員・同窓会の皆様、また学園祭を支援していただいた全ての皆様のお力添えで、今年も学園祭を無事終了できたことでも感謝しています。学園祭実行委員長という仕事は仕事も多くとても苦労をしましたが、大きく成長することができた貴重な経験だったと思います。ありがとうございました。

仙台文学館
第六十五回 晩翠あおば賞
中学二年 岡崎 千紗(現中学二年)

「私」取扱説明書

ご注意ください
心に「反抗期」が来たようです
心はまるでハリネズミ
少しいことでイライラします
これまで通りに接したら
きつとあなたを傷付けます

ご注意ください
圧をかける
爆発する危険があります
期待はときに苦痛なのです
私は私のベストを尽くします

ご注意ください
反応しないときもあります
耳の病気ではありません
疲れているだけなのです
一人の休息時間も必要です

ご注意ください
押し付けると離れます
私にも私の思いがあるので
一人で考え一人で実行できるように
練習期間を私にください
信じてください
イライラしても無視しても
爆発してしまっても
私はあなたの愛情を受け取っています
私の心のモヤモヤが晴れるまで
そっと見守りお願いします

(こだま六十八号)

中学 ソフトテニス部
新人大会 県大会出場
令和6年度 仙台市中学校新人大会
ソフトテニス競技 女子個人Eブロック

第1位 菅原 志之(中1)・橋本 蘭子(中1)
第2位 佐藤 夏渚(中1)・小野寺 莉央(中1)

第40回 宮城県中学校選抜
ソフトテニス大会
第2位 菅原 志之(中1)・橋本 蘭子(中1)

令和6年度 第74回
宮城県中学校英語暗唱大会・
高円宮杯 第76回全日本中学校
英語弁論大会

仙台大会	
暗唱の部	最優秀賞 田中 昂(中3)
弁論の部	優秀賞 金子 桜愛(中3)
宮城県大会	
暗唱の部	最優秀賞 田中 昂(中3)
弁論の部	奨励賞 金子 桜愛(中3)

東北六県中学校英語暗唱・高等学校
英語弁論大会 出場 田中 昂(中3)

第45回(令和6年度)
JA共済宮城県小・中学生
書道・交通安全ポスターコンクール

二年 親国善際
鈴木 うらら(中2)

宮城県知事賞 鈴木 うらら(中2)

中学3年 修学旅行 in 道南 7/2火~5金

3泊4日の旅のなかでも一番印象に残ったのは函館山から見た夜景です。地形の特徴をよく理解することができました。北海道漁業協同組合連合会函館支店へのインタビューでは漁業に対する現状、課題、取り組みなどを知ることができました。また、スイーツや海鮮丼など美味しいものをたくさん食べることができて幸せでした。トラピスチヌ修道院、元町カトリック教会、外人墓地と、トラピスト修道院の4ヶ所でささげたお祈りは落ち着いた雰囲気の中でみんな心を一つに手を合わせる事ができ、清々しい気持ちになりました。特にトラピスト修道院では、聖歌のオルガン伴奏をさせていただき、一生忘れない思い出ができました。この4日間を通して現地の方と触れ合ったり、友達との絆を深めたり、人との繋がりを感じることができました。この旅を支えてくださった方々に感謝いたします。

中学3年 佐藤 陽和

中学1年 英語暗唱大会 11/7木

私は、英語が大好きです。小さいころから英語のアニメを見たり、曲を聴いたりして自然に英語を耳にする機会が多かったように思います。世界中の人とスムーズに会話を楽しんでコミュニケーションをとること。そして日本人だから英語が下手でもよいというのではなく、ネイティブと対等に会話をしたというのが今の目標です。今回、ペアの部、シングルの部共に1位をいただいて自分の英語に自信ができました。きれいな発音はもちろん、内容を理解し感情を込めて登場人物によって声色を変える意識をしたことが今回の結果に結びついたのではないかと思います。これからも楽しく英語の勉強を続けて、将来は世界中を飛び回り、人々の役に立ちたいと思っています。ペアの部・シングルの部 第1位 田代 七渚

私は、幼稚園の頃から英語を学んできましたが、人前で話すことが苦手だったので、英語暗唱大会に出るのが不安でした。今回、七渚さんとペアを組むことになり不安がぐっと減りました。セリフはしっかり暗記し、自然に見えるようジェスチャーの練習も二人で何度も繰り返しました。本番では大きく声を出すように努力しました。七渚さんのおかげでいつも以上の力が出せたと思います。1位になれたことはとても驚きましたが嬉しかったです。これからも英語の勉強を頑張っていきます。

ペアの部 第1位 柏葉 水玲
ペアの部 第2位 泉 日南乃(第2位)・須田 菜々美(第2位)
ペアの部 第3位 大泉 紅夏(第3位)・田中 築(第3位)

シングルの部 田代 七渚(第1位)・菅原 志之(第2位)
単位の部 畠山 愛侖(第3位)

修養会 十月二十日

中学生の感想から

中学一年 守 晴菜

今日の修養会で平和と喜びの関係... 一番印象に残ったことはアーモンドを食べたときです。

中学一年 佐伯 玲奈

私が今回の講話で一番印象に残っていることは、「生きていく」ということ... 神父様のお話です。



中学1年「愛」高松 誠先生 (佐久大学 人間福祉学科 准教授)

中学二年 稲木 珠紀

今日の修養会では、自分の人生は唯一のものであること、伝えることの大切さ、自分を受け入れることの大切さ、そして正義について学びました。

中学三年 菊地 優花

私が今回の講話で一番印象に残っていることは、「生きていく」ということ... 神父様のお話です。



中学2・3年「平和」関谷 義樹 神父様 (サレジオ修道会 司祭)

高校生の感想から

高校一年 田部 奈央佳

「平和」について深く考えさせられました。自分は関わりたくないという感情が、苦しんでいる人々の叫びを聞きたくしてしまっているのは、とても良くないことだと思いました。

高校二年 佐藤 七海

「平和」とは争いのない状態を意味するものだと考えていた。しかし、神父様のお話を聞き、「平和」とは単に争いが無いということではなく、生きる全ての

わがかりました。心が平和であるためには、自分を受け入れることが必要です。

私は人を癒す優しくするといったたたかい行動を心がけ、身近なところから「平和」を広げていきたいです。



惜しくも入賞は逃してしまいました。たが、今回の経験を活かし、これからも科学の学びを深めていきたいです。

第14回 科学の甲子園

みやぎチャレンジ2014

高校二年 安部 千代

私たちは十月二十六日に第十四回科学の甲子園みやぎチャレンジ2014に参加しました。

高校生 地産地消 お弁当コンテスト 優秀賞



お弁当販売の権利を得ることができました。販売企業はイオンミニストップグループです。

第59回 国際理解に関する弁論大会

宮城県教育委員会 教育長賞 第2位 小玉 眞碧(高2) 宮城県高等学校 国際教育研究会長賞 第3位 倉澤 亜州実(高2)

U-17 日本女子代表

FIFA U-17 女子ワールドカップ ドミニカ共和国 2024 出場

津田 愛乃音(高2) 菊地 花奈(高2)

高校放送部

部長 高校二年 齋藤 麻帆

私たち放送部は年に二回行われる大会へ向けて日々活動しています。今年の八月に行われた全国総合文化祭秋大会ではビデオメッセージ部門、朗読部門の二部門で出場しました。

7/31水~8/5月

第48回 全国高等学校総合文化祭 ~ 清流の国ぎふ総文2024 ~

美術・工芸部門



全国総合文化祭では、その規模と参加者の作品の多様性に圧倒されました。各地から集まった高校生の作品は、それぞれに独自の視点や技法によって表現されており、特に自分が未だ挑戦したことのない分野や使ったことのない素材で作られた作品は、とても新鮮でいい刺激になり、今後の自分の作品制作に繋がりたいと思いました。

この経験は、自分のアートに対する理解を深めるとともに、他の制作者との交流を通じて大いに成長する機会となり、非常に有意義な時間となりました。

高校3年 栗山 こゆき

囲碁部門



6位入賞 高校3年 大沢 希

放送部門



高校放送部

東北大会出場



アナウンス部門 優良賞 大友 理央(高2) 朗読部門 優良賞 齋藤 麻帆(高2) 天谷 凜(高1)